

農福連携マッチング事業全体会議  
お試しノウフク事業  
成果報告資料（湘南地域）

令和7（2025）年3月27日（木）

特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター

理事長

坂田 美保子

理事

長谷川 正幸

プロジェクトマネージャー

関谷 育雄

# 1 令和6年度 成果報告(1)

## ○お試しノウフク実施件数 9件

月日	農家名	施設名
6/5	<input type="checkbox"/> 笹尾	「かたつむりの家」
6/20	<input type="checkbox"/> 関谷	「かたつむりの家」
9/26	<input type="checkbox"/> 関谷	「キルクももはま」
10/15	<input type="checkbox"/> 海老澤	「キルクももはま」
1/18	<input type="checkbox"/> 秋山雄一	「スタジオクーカ」
1/18	<input type="checkbox"/> 秋山修	「スタジオクーカ」
1/18	<input type="checkbox"/> 岩田	「スタジオクーカ」
1/18	<input type="checkbox"/> 笹尾	「スタジオクーカ」
1/27	<input type="checkbox"/> 秋山雄一	「キルクももはま」

## ○マッチング件数 5件

月日	農家名	施設名
4/1	<input type="checkbox"/> 桐原	「大磯かたつむりの家」
4/1	<input type="checkbox"/> 大森	「グランス平塚」
11/27	<input type="checkbox"/> 関谷	「キルクももはま」
11/29	<input type="checkbox"/> 海老澤	「キルクももはま」
2/3	<input type="checkbox"/> 秋山雄一	「キルクももはま」

## ○その他

- 4 / 1 8 ~ 平塚中等教育学校自己探求プログラム「農福連携」に協力(3/6発表)
- 5 / 2 8 ウェルビー平塚北口センター事業所で農福連携についてスピーチ
- 5 / 2 8 平塚ライオンズクラブにて農福連携についてスピーチ
- 6 / 2 7 農福連携農家・福祉事業所との合同懇親会を開催
- 10 / 1 7 韓国・社団法人全国農業技術者協会が農福連携の現場『キルクももはま』を視察
- 11 / 2 4 市民活動センターまつりにて農福マルシェを実施
- 12 / 1 8 「内閣府地方創生推進事務局」及び「あずさ監査法人」職員が農福連携の現場『キルクももはま』を視察
- 12 / 2 0 藤沢市障がい者福祉対策部会が農福連携の現場『キルクももはま』を視察
- 1 / 1 8 福祉事業所「スタジオ・クーカ」にて農福マルシェを実施
- 3 / 1 8 農福連携推進会議を開催

## 2 お試しノウフク実施記録①

- ①期日 6月5日(水)  
事業所 「かたつむりの家」  
農家 「笹尾農家」玉ねぎの皮むき  
参加者 利用者 5名 事業所スタッフ2名  
作業内容 玉ねぎの調整、袋詰め  
ジャガイモの袋詰め



※マッチング成立せず

課題：利用者さんの作業内容は実施可能でしたが、野菜の保管場所の確保や福祉事業所まで距離があり、毎日の往復では採算が合わない可能性が高かった。

## 2 お試しノウフク実施記録②

- ②期日 6月20日(木)  
事業所 「かたつむりの家」  
農家 「関谷農園」  
参加者 利用者 5名 事業所スタッフ2名  
作業内容 エンサイ(空芯菜)の調整・袋詰め



※マッチング成立せず

課題：利用者さんの作業内容は実施可能でしたが、作業場所が屋外であり今夏の暑さでは利用者さんの健康が心配であった。また、野菜にとってもすぐにしおれてしまう環境であったり保管場所の確保が難しかった。農家・福祉事業所共に採算が合う収穫や作業量に隔たりがあった。

## 2 お試しノウフク実施記録③

③期日 9月26日(木)

事業所 「キルクももはま」

農家 「関谷農園」

参加者 利用者 4名 事業所スタッフ1名

作業内容 エンサイの調整・袋詰め



## 2 お試しノウフク実施記録④

- ④期日 10月15日(火)  
事業所 「キルクももはま」  
農家 「海老澤農園」  
参加者 利用者 3名 事業所スタッフ1名  
作業内容 サトイモの調整・袋詰め



## 2 お試しノウフク実施記録⑤～⑧

- ⑤期日 1月18日(土)  
事業所 「スタジオ・クーカ」  
農家 「海秋山雄一農家」  
参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名  
作業内容 サトイモの直売



- ⑥期日 1月18日(土)  
事業所 「スタジオ・クーカ」  
農家 「秋山修農家」  
参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名  
作業内容 長ネギの直売

- ⑦期日 1月18日(土)  
事業所 「スタジオ・クーカ」  
農家 「岩田農園」  
参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名  
作業内容 ヒラタケの直売



- ⑧期日 1月18日(土)  
事業所 「スタジオ・クーカ」  
農家 「笹尾農園」  
参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名  
作業内容 カブの直売





## 2 お試しノウフク実施記録⑨

- ⑨期日 1月27日(火)  
事業所 「キルクももはま」  
農家 「秋山雄一農家」  
参加者 利用者 2名 事業所スタッフ1名  
作業内容 サトイモの直売



### 3 マッチングの成立記録（1）

①成立日 4月1日 ※R5年度にお試しノウフク実施

事業所 「かたつむりの家」

農家 「桐原農家」

契約内容 乾燥ハーブの葉の摘み取り。

②成立日 4月1日 ※R5年度にお試しノウフク実施

事業所 「グラズ平塚」

農家 「大森農家」

契約内容 ジャガイモ掘り・泥落とし・選別、玉ねぎカット、野菜拭き・パック詰め、  
トウモロコシ仕分け、  
エダマメもぎ・仕分け、ブロッコリー・キャベツの種まき、マルチはがし、  
なす・ピーマンの袋詰め、ハウス内片付け 等

### 3 マッチングの成立記録（2）

③成立日 11月27日

事業所 「キルクももはま」

農 家 「関谷農園」

契約内容 サツマイモの調整・袋詰め・直売、カリン、ゆずの直売

④成立日 11月29日

事業所 「キルクももはま」

農 家 「海老澤農園」

契約内容 里芋や八頭、ゆず・レモンの調整・袋詰め・直売、大根・じゃがいも・人参の直売

⑤成立日 2月3日

事業所 「キルクももはま」

農 家 「秋山雄一農園」

契約内容 里芋の直売

日数及び人数、のべ人数

・「**グランズ平塚**」と「**大森農家（下記）**」※施設外

平日

4月

5日×3～4名＝17名

5月 9日×3～8名＝35名

6月 16日×3～7名＝69名

7月 21日×3～8名＝87名

8月 16日×3～5名＝60名

9月 19日×3～4名＝67名

10月 23日×3～5名＝102名

11月 17日×3～5名＝75名

12月 18日×3～5名＝75名

1月 16日×3～5名＝65名

2月 13日×3～5名＝58名

玉ねぎカット  
 野菜拭き、パック詰め  
 シール張り、段ボール組立  
 エダマメもぎ・仕分け  
 トウモロコシ仕分け  
 ブロッコリー、キャベツ種まき  
 ナス・ピーマン袋詰め  
 ジャガイモ選別  
 サツマイモつる切り  
 里芋・サツマイモ泥落とし、選別  
 里芋掘り  
 里芋ヒゲ取りと皮むき  
 玉ねぎ苗回収、苗植え  
 ハウス内片付け  
 種まき



日数及び人数、のべ人数

## ・「かたつむりの家」と「桐原農家（乾燥ハーブ摘み取り）」※施設内

4月	2回×6名=12名	5月	2回×6名=12名
6～9月	なし	10月	1回×6名=6名
11月	1回×6名=6名	12月	なし
1月	なし	2月	1回×6名=6名

※依頼してから完了まで2週間程度かかるため日数では計上せず。

## ・「キルクももはま」と「海老澤農家（里芋・大根・八頭・レモン・ゆず・ジャガイモ・人参袋詰め、直売）」※施設内

12月	6回×2名=12名
1月	3回×2名=6名
2月	1回×2名=2名

## ・「キルクももはま」と「関谷農家（サツマイモ袋詰め・直売、カリン・大根・ブロッコリー直売）」※施設内

12月	13回×2名=26名
1月	3回×2名=6名
2月	4回×2名=8名
3月	5回×2名=10名

## ・「キルクももはま」と「秋山雄一農家（里芋直売）」※施設内

2月	3回×2名=6名
----	----------

**合計 のべ828名（2月末現在）**

### ■アンケート内容

農福連携を実施した農家・福祉事業所に対して①実施して良かったこと②課題③利用者さんの声を回答いただきました。

### ■結果

#### ①について

（農家）

- ・エンサイの袋詰めは、大変助かりました。
- ・収穫、袋詰めがとても早く終わるようになった。
- ・すべての作業が時短できて助かっている。もういなくてはならない人材になっている。
- ・体力的に助かった。
- ・売り上げが伸びた。
- ・近所の農家が興味を示し始めている。

（福祉事業所）

- ・利用者さんが前向きに取り組んでいるので安心した。  
農業が就労に向けての一つのステップになってくれるとありがたい。
- ・利用者さんが、生きがいをもって働いてくれているのを見ると、やってよかったと思えた。
- ・利用者さんの作業が慣れてきたので、指導も楽です。
- ・地域に暮らし、地域のことをよく知ってられるのが農家さん。農家とつながることは地域とつながることになり、とても大切なことで必要なことです。

### ②について

#### （農家）

- ・ 今後は、圃場に来られる施設外就労ができることを期待したい。
- ・ 工賃について、仕事ができる人は賃金を上げた方がいいのか思案中。
- ・ 打ち合わせをきちんとし互いに良い関係で作業ができるようにしていく。
- ・ 直売をするときに、PL法共済保険に入る方が安心である。
- ・ 我が家は土日中心の農業なので、福祉事業所の利用が限定的となっている。
- ・ 作業の洗い出し、細分化を検討していきたい。
- ・ 農作業のどの部分を福祉と連携できるかを試行しながら考えたい。 他

#### （福祉事業所）

- ・ 専用作業場所の確保。例）野菜に適した場所（温度、冷暖房）、作業に適した場所（トイレの確保）
- ・ 農家さんどうしは日頃より連携がとれているようにみえるが、福祉事業所どうしは横のつながりが弱いと思う。
- ・ 利用者さんにより、農作業の希望の偏りが大きい。

### ③について

- ・ 袋詰め作業で、野菜に触れられるのが楽しい。
- ・ また畑に来たいと言っている。
- ・ 青空の下で作業できることが楽しい。
- ・ 収穫物を自宅に持ち帰ってお母さんとレシピを考えたりするのが楽しい。
- ・ 農家さんの大変さが分かったから、値段が高くなっても文句は言わない。

### お試しノウフク⇒マッチング成立へ

#### □関谷農家(平塚)と「レインツリー伊勢原事業所」

作業内容 エンサイの袋詰め、他

その他 関谷農園を借りて野菜栽培 ※畑を耕作してもらう予定

#### □大森農家(平塚)・他と「レインツリー伊勢原事業所」

作業内容 エンサイの袋詰め、他

#### □細川農家(大磯)と「かたつむりの家(大磯)」

作業内容 セルポットへの播種・等

#### □関谷農家(平塚)・他と「ドリーム(伊勢原)」

作業内容 野菜の直売 等



## 7 その他の福祉事業所との連携

- ・「はたらっく・ひらつか」と「岩田農家」※施設外  
※平塚市の生活困窮者自立支援事業の一環として  
実施している就労準備支援事業を行っている事業所
- ・「はたらっく・ひらつか」と「大森農家」※施設外
- ・「はたらっく・ひらつか」と「関谷農家」※施設外  
作業内容

草刈り、管理機操作、マルチ張り、野菜の収穫、調整、袋詰め、等



- ・「ウェルビー平塚」と「関谷農家」の体験実習 ※施設外  
※就労移行支援事業所

作業内容

エンサイ（空芯菜）の調整、袋詰め



# 7 その他（啓蒙活動）（1）

- ・平塚中等教育学校自己探求プログラムの「農福連携」に協力（4/18～6/13、3/6）
- ・ウェルビー 平塚北口センター事業所で農福連携についてスピーチ（5/28）
- ・平塚ライオンズクラブにて農福連携についてスピーチ（5/28）
- ・お試しノウフク開催チラシを作成・配布（6月）



・JA湘南機関誌（5月号）に農福連携紹介（大森農家）



神奈川県 令和6年度実施 農福連携マッチング等支援事業  
**農業と福祉のマッチングを支援いたします**  
 対象地域 平塚市・伊勢原市・大磯町・二宮町

就農体験会（お試しノウフク）体験希望・相談募集中

# 農 福

神奈川県農福連携 マッチング支援

神奈川県では、人手を要する農業の方と、就農したいけれどなかなか活躍の場を見出せない福祉人材の方のマッチングを支援する事業に取り組んでいます。「本格的なマッチング（契約）の前にはちょっと試してみたい」という要望を受け、農家さんの指導のもと、働きたいのある方が農作業を体験する就農体験（お試しノウフク）を実施します。農業者、障害福祉サービス事業所など、「お試しノウフク」「マッチング」を希望される方はお気軽にご相談ください！

農業	作業内容の例	福祉人材
簡単な作業をお願ひしたい	野菜の収穫 シール貼り 草むしり 他 多数	仕事をしたい 社会と繋がりたい

就農に至るまでの一般的な流れ  
 1 相談 2 打合せ 3 就農体験（お試しノウフク） 4 マッチング成立 5 契約

お問い合わせ先  
 特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター  
<https://noufuku-hiratsuka.jimdofree.com/>  
 TEL: 070-6662-2455  
 E-mail: shonan@snposc.org

詳しくは神奈川県福祉子ども未来局 共生推進課まで  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/noufuku.html>

・農福連携農家・福祉事業所との合同懇親会を開催(6/27)

- ・ 韓国・社団法人全国農業技術者協会が農福連携の現場（キルクももはま）視察（10/17）



- ・ ひらつか市民活動センター祭りで農福マルシェ実施（11/24）



# 7 その他（啓蒙活動）（4）

- ・内閣府地方創生推進事務局職員・他様視察 (12/18)
- ・藤沢市障がい者福祉対策部会様視察 (12/20)
- ・「スタジオ・クーカ」でマルシェ (1/18)
- ・農福連携推進会議を実施 (3/18)
- ・農福連携のHPを作成 ※県HPからも検索可



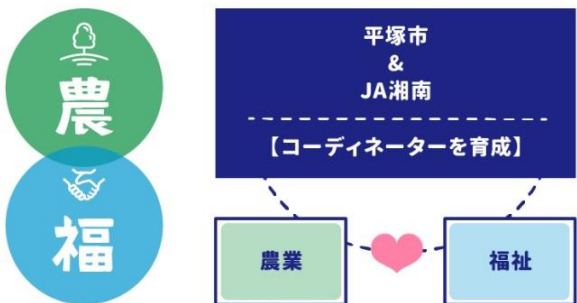
なぜ農福連携なのか？	事業の内容と当法人の役割
コーディネーターの役割	サスティナブル（持続可能）な地域社会の実現のために

**農福連携事業**

2010年に鳥取県、2011年には香川県が、農福連携の取組みを開始し、2016年に政府が定めた1億総活躍プランにおいて、農福連携の推進が盛り込まれました。

それを受けて、神奈川県では「ともに生きるかながわ憲章」の理念のもとに「ともに生きるかながわ」の実現に向け、令和2年度「農福連携マッチング等支援事業」を、平塚・藤沢・秦野の3地区をモデル地域として設定し開始しました。

その枠組みは神奈川県・各自治体と関連部署・JA及び中間支援組織（NPO法人等）が連携して、コーディネーター育成を通じて農福連携を推進するものです。（令和4年度まで）



## 関連トピックス



**平塚市における農福連携フォーラム～農福連携の課題と展望～開催のお知らせ**

2023年7月26日  
農業従事者の高齢化等による地域農業の担い手不足が深刻になっています。一方、障が...



**令和5年度実施「就農体験会（お試しノウフク）」まずはご相談ください。**

2023年6月28日  
神奈川県では、農家で働く新たな人材の確保や障害者等の就労や生きがいづくりの場を生...

**「ディツアー」に行ってきました**

2023年3月16日  
2023年3月7日（火）9:00～14:00 令和4年度農福連携スタディツアーは...



**農福連携フォーラム開催！令和5年1月28日（土）**

2022年12月14日  
令和4年度 神奈川県農福連携マッ...



**農福連携マッチング等支援事業（マッチング事例報告）**

2022年9月3日



**令和4年度「農福連携コーディネーター養成講座（連続2回講座）」開催報告（5/14、6/18実施）**



# 7 その他（啓蒙活動）（5）

・農家・福祉事業所に農福連携『のぼり旗』の設置を依頼



岩田農家



小宮農家



山田農家



海老澤農家



笹尾農家



キルクももはま



みんなの家ミミ



スタジオ・クーカ



かたつむりの家



大森農家

他

## 8 これまでの振り返り

- 関係者のネットワークが深まり、懇親会や推進会議を開催することができた。その場では、農福連携をして楽しく作業できていることや作業の効率化についても話題となり、新たな連携も生まれそうである。農福連携の輪が広がって来ていることを実感している。
- 農家、福祉事業所共に核となる人材ができ多方面で活躍されているので、農福連携の広まりに貢献できている。また、農家からの依頼作業や福祉事業所の環境改善などの課題を解消する努力をされていることが大きく役立っている。
  - 例 タウンニュースなどの広報誌や農業新聞などで農福連携をアピール  
年間を通した野菜の選定（冬…ネギ 春…ジャガイモ 夏…エンサイ 秋…サツマイモ 等）  
適性に応じた作業の分担
- 『はたらっく・ひらつか（就労準備支援事業）』等の事業所からの依頼で、引きこもり等の課題を抱える利用者さんの就労支援を実施することができた。（一人は、農家に雇用？される方向で進んでいる）  
今後、県の方針としても**連携する福祉事業所の範囲の拡充**を検討していただきたい。
- ▼今年度は、JA湘南のTAC職員の異動や農家の諸事情及び担当・コーディネーターの多忙化等により、新規の農福連携があまり進んでいない。
- ▼二宮町の農福連携は、情報が少なく進んでいない。アプローチの仕方を検討中である。
- ▼今夏の異常高温は、利用者さんの作業や事業所の環境に大きな影響が大きかったと思われる。  
対策を検討する必要がある。
- ▼現在、農家さんのニーズが高まっている。今後は、障がい者支援団体の方からの情報を丁寧に聴き適正に応じたマッチングができるようにしていきたい。

## 9 今後の農福連携の展開について

- 福祉事業所の立地が①住宅地にある②防犯上も有利などを鑑みると、直売所としても活用していく。
- 福祉事業所によっては、広い作業場に冷暖房の施設があることがわかった。袋詰めなどの作業にとても適しているので情報を集めていく。
- 農業者と福祉事業者とのネットワークを作ったり（LINEグループ等）、定期的に会合をもったりして、農家の希望と福祉事業所利用者さんの希望とがうまく擦り合わせられる環境や知恵を出し合える環境を構築していく。  
（例）年間作付け野菜の情報交換、福祉事業所の農福運営の情報交換 等
- 農家どうし、福祉事業所どうしで情報交換（農福へのお誘い）を進めていく。  
特に、二宮町や大磯町の福祉事業所の実態把握を進め農福連携を推進していく。
- 農福連携ののぼり旗を各農家・施設に設置していく。
- ▼夏の異常高温は、利用者さんの作業や事業所の環境に大きな影響が大きかったと思われるので、夏場の外作業は十分な配慮（対策）をする必要がある。
- ▼施設外就労は、福祉事業所のスタッフ不足も考慮して、十分な計画を立てた上で農福連携をしていく必要がある。